2015 年 7 月 30 日
株式会社オリエンタルランド

2016 年 3 月期 第 1 四半期決算 電話説明会 質疑応答

実　施　日：2015 年 7 月 30 日（木）
当社説明者：取締役 常務執行役員(経理部担当) 横田 明宜
IR グループマネージャー 浅井 一(司会)

以下は、決算電話説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

Q1) 第 1 四半期は売上高が予想を下回ったが、コストの減少もあって営業利益はほぼ予想通りとなっている。これはコストコントロールの成果と考えられるのか。

A1) コストの効率化には継続的に取り組んでおり、すでに期初計画に織り込まれている。期中においても減らせるものは減らすが、大きくコントロールできるものではない。第 1 四半期決算のコストは純粋に減少したものもあるが、第 2 四半期以降への時期ずれもある。

Q2) 「大型投資案件に向けた費用」の具体的な内容を教えてほしい。また、この費用は今後増えていくと考えられるのか。

A2) 主にディズニー社に対して支払う研究開発費である。計画自体が長期にわたるので、この費用も数年にわたって発生するイメージである。具体的には各年度の業績予想発表時にお伝えしたい。

Q3) 海外ゲストを中心としたゲストプロフィールの変化があれば教えてほしい。

A3) 海外ゲストは前年比では若干増加しているものの、全体に占める割合は小さく、影響は軽微である。なお、国別について詳細はお答えしていないが、台湾などアジア圏からのゲストが多い。国内ゲストの地域別、年代別、同行形態別の割合は例年レベルであり、傾向に大きな変化はない。

Q4) 足元の状況を教えてほしい。

A4) 7 月のテーマパーク入園者数は、悪天候の影響により、前年に対して下回っている。なお、天候が良い日は入園者数も堅調である。ゲスト1人当たり売上高はチケット・商品・飲食いずれも前年を上回って好調に推移しているほか、ホテル事業もほぼ予想通り、順調に推移している。

Q5)　足元の業績が想定を下回った場合、大規模開発の投資額に影響はあるか。

A5)　業績が大きく下がるような想定はしていないが、仮に何らかの影響で業績が下がったとしても、従前より資金的な対応も準備しており、影響はないと考えている。

Q6)　大規模開発の工事行程を含めた投資スケジュールと、それを受けての株主還元について、教えてほしい。

A6)　大規模開発計画については、2015 年中に詳細を発表する予定なので、もう少しお時間を頂きたい。あわせて、株主還元についても、現段階で新たにお伝えできるものはない。

以上